



青森県立八戸水産高等学校

進路通信 第3号

令和5年3月24日発行

文責 進路指導主事 根城 裕子



「しんろ」

3月1日、令和4年度卒業式・修了式が保護者の皆様の温かいまなざしの中で挙行されました。在校生も各教室で画面越しではあるものの、先輩たちの晴れ姿にこれからの自分を重ね合わせ、感慨深く見つめていました。校歌の歌声を聞いたのは何年ぶりだったのでしょうか。新型コロナウイルス感染拡大防止策による多くの制約を受けてきましたが、生徒たちは校歌を初めて歌うことができたのです。そして95名の卒業生と12名の修了生がそれぞれの路を歩み始めました。

「自分の可能性を試したい」「この仕事をやりたい」と強い意志で進路を決定したり、周囲に流されることなく自分自身を探し求め続けたりする生徒と接し、様々な場面で胸の内を聞いてきました。卒業後に進む路は、今までの人生線上に続き、生徒本人、家族や教職員など多くの方々の想いと共に、時には交錯しながら、「こころ」の路でもあります。「進路」は「針路」と「心路」だと考えています。短い高校3年間ですが、進路活動を通じて、生徒一人ひとりに寄り添った「しんろ」指導を今後とも継続してして参ります。どうぞ今後とも本校における進路指導へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

卒業生による進路講話（2学年）



・大量生産
毎年100万
平成24年

・平成2年
現在の上
種苗を放流



本校卒業生5名による2年生対象の進路講話では、現在の仕事をなぜ選択したのか、仕事内容・待遇、そしてやりがいをそれぞれが熱く語ってくれました。高校時代をどのように過ごすか、今求められていること、先輩ならではの後輩へのメッセージやエールは、これからの進路選択に役に立つことばかりですので、ぜひ参考にしてください。



1学年のマリナタイムの授業では、卒業生の進路状況と1学年の進路希望調査の結果、来年度の進路行事予定について話しました。本校の進路状況について保護者の皆様もどうぞご覧ください。